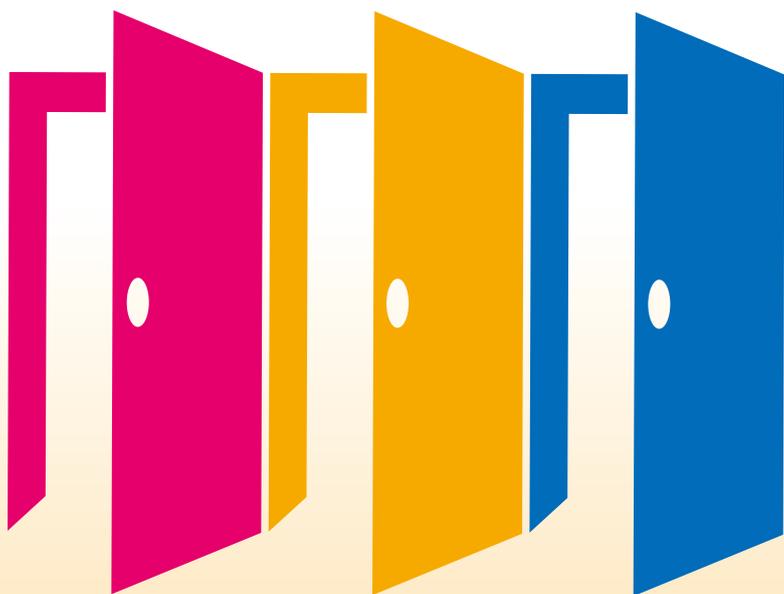




週報

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度国際ロータリーのテーマ



No.01299 2021.3.29 第23例会

◆本日のプログラム

3月29日(月)
クラブフォーラム
(国際奉仕・米山記念奨学会
について)
国際奉仕委員長
小菅 英司 会員

◆次回のプログラム

4月5日(月)
内部卓話
「黎明期の日本の医学と
その後の歩み」
岡本 和夫 会員

Rotary Opens Opportunities

◆理事・役員 (2020.7～2021.6)

会 長 平 松 信
副 会 長 相 原 利 行
幹 事 鈴 木 一 生
副 幹 事 久 松 哲 生
理事・S.A.A. 野 田 洋 市
副 S.A.A. 児 島 正 典

会 計 西 岡 貞 則
理事・職業奉仕 橘 高 正 剛
理事・社会奉仕 原 全 伸
理事・国際奉仕 小 菅 英 司
理事・青少年奉仕 鴨 井 利 典
理事・会員増強 竹 本 千 代 子

理事・プログラム 入 江 直 人
理事・親睦活動 福 元 裕 之
理事・ロータリー財団 小 松 忠 男
直 前 会 長 山 下 浩 一
次 期 会 長 岡 本 浩 三

地区のスローガン 「こころの扉を開こう」

クラブのスローガン 「こころを一つに」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL (086) 222-9590・222-0384 FAX (086) 224-4288
E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

内部卓話

「子どもシェルターモモのこれからの10年について」

野田 洋市 会員



・ミッション

子ども自身の選択による自立を支援する。(困難をかかえる子ども)

・ビジョン

ミッション実現の為、安定的な組織体制を構築する。部門別損益を導入し、各部門が収支均衡を整える。各部門間の協力体制を構築する。

部門とは モモの家 :年間12名以上の新規利用を職員3名とボランティアで支える。

あてんぼ :利用者常時5名以上を職員4名とボランティアで支える。

学南ホーム:利用者常時5名以上を職員4名とボランティアで支える。

en :新たに拠点を設けて、利用者70名を職員2名とボランティアで支える。

(アフターケアとして卒業者のフォローをする。)

事務局 :職員3名(内2名は兼務)主に助成金事業を実施。

・バリュー

それぞれの子どもの孤立させない為に各部門間で連携する。

・行動計画

- ①利用目標数達成のために運用ルール変更する。(特にスマホの預かり)
- ②組織の若返りと優秀な職員の確保、職員待遇改善。
- ③経営者団体とのセッションを企画して協力企業を募る。
- ④認定NPO法人の優遇税制の広報と支援、寄付を広く依頼する。
- ⑤就労支援、職業訓練が可能な仕組みをつくる。(新規物件)

・中長期計画(これからのモモの10年)

1. 新規物件確保とアフターケアの充実(2021~22年度)

休眠預金整理に伴う支援(約2000万円)により現本部から近い岡町に4LDKを求め各ホームや施設から社会へ送り出した子どもがたまたまいても再チャレンジ出来るよう就労・生活・学習支援をする。

2. 社会福祉法人格を取得し社会福祉法人「子どもシェルターモモ」を目指す。(3年以内の計画)

・資産、資本要件あり。ガバナンス強化が必須。

3. 「子ども村」を創設する。(5年から10年)・・・みんなの夢。

・福岡にモデルあり。 廃校、とか。

・実家に帰ったような雰囲気(いつでも家族が泊まれる)

4. 財政、その他(口頭にて)・・・詳細は控えさせていただきます。

外部環境分析	
<p>政治・経済の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子どもの権利条約」が児童福祉法に盛り込まれた ・子どもの養育の利益 ・意見表明権 ・家庭的養育に向けて…各都道府県毎に計画 ・子どもの貧困 ②国は子どもへの支援強弱に着手していない ・予算が少ない ③「子ども」に關しての範囲は厚労省と文科省のみ。 ④寄付行為の促進 相続税 税制優遇制度 ⑤子育て支援策の改善 	<p>社会環境の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)スマホ、ITの普及によりデジタル・リモート化 ①就労形態の多様化 ・食社に出勤 → 個人で(Webで仕事) ・副業も可、ネットでも働くこともできる。 ② 雇用社会の行き過ぎ ・携帯ブラックの子どもの出現 → 依存 → 貧困 2)子どもの貧困への関心の高まり ・子ども食堂の広がりが ・生活困窮者支援の広がりが
<p>経済・景気の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 景気後退局面に入る。(GDPはマイナス) ・リーマンショックやバブル崩壊後継に類似。 ・金融緩和や財政出動で株高が続くが実態経済を反映していない。 ・雇用環境や失業率は悪化している。 ② コロナ禍での影響 ・感染拡大で経済、市場、社会も混乱している ・業種、業種及び企業間での格差が大きい。 ・中長期ではワタシに期待。 	<p>地域経済の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 県内の大手企業の業績は良くない。 ・三菱自動車(軽小) 三井造船(撤退) ・パナソニック大型工場(撤退) ・岡山では民間投資は減少傾向。 ② コロナ禍での影響 ・観光、飲食サービス業は苦戦している。 ・業績に見通しがつかない企業も多い。 ・消費意欲は自粛ムードで回復していない。 ・ワタシに期待が大きい。
<p>子ども福祉関係団体の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)社会的養育推進計画 ①子どもの権利の実現 ・子どもの「聴いてもう権利」の推進 ・家庭的養育の推進(里親の拡大) ・児童養護施設の小規模化 ②社会的養育を受けている子どもの自立支援 ・実親把握と自立支援の拡充 ③自立援助ホームの設置数の拡大(4~8) ④児童養護施設等体制強化事業費 ⑤予算増小 乳児院→成人 一人1億円 少年院 1千万円 	<p>子ども支援者の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)子どもの貧困への関心の高まり ・市民レベルで、子ども食堂、子ども支援、子ども支援 ・フードバンク、フードドライブの活動 2)SDGsへ関心の高まり 3)社会的養育 ・養育施設へ心土壌の配置 ・社会的養育自立支援事業 ・就学者自立支援事業(在園22歳まで) 4)共助の広がりが

子どもシェルターモモの事業分析	
<p>現在の支援の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)居場所の提供 ①緊急避難先 子どもシェルター「モモの家」 ②自立援助ホーム「あてんぼ」「学南ホーム」 ③アフターケア相談所en 2)危機対応・事件 ①行方 ②児童相談所 ③保護観察所 ④福祉事務所、社会福祉協議会 ⑤発達障害者支援センター 心の相談センター ⑥保健所、地域こども家庭支援センター ⑦児童養護施設、自立支援施設 ⑧居住支援団体、ホームレス支援団体 ⑨弁護士会、ロータリークラブ ⑩NPO団体 	<p>現在関わっている子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> 1)緊急避難先 被害待機 18歳 19歳が多い 2)自立援助ホーム 被害待機・養育困難児 16歳 17歳が多い 3)アフターケア相談所en シェルター、自立援助ホーム、児童養護施設等退所者 17歳~29歳 4)子どもの特性 ・愛着障害 ・発達障害 ・大人不信 ・他者との関わりが困難
<p>新しい支援者の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア養成講座 ②新しい分野の開拓 ・企業 事業者 ・産業カウンセラー ・社会福祉士 ③若手名士の開拓(連携を含む) ・道徳(道徳) ・深い共同担当事業への寄付 約70名 ・賛助会員 ・企業 事業者 団体 	<p>現在関わっている子どもに対して新しい支援の開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル・リモート化社会 ・デジタル、リモート機器使用技術を教える人が必要 ・手ぶら機会と企業へのつながりが必要 ②協賛先 たりき橋 支えあい(共助) ・新しい支援の創出 ③新しい事業の創出 ④職員の増員と待遇の改善 ⑤退職金・特別手厚の実施 ⑥労基法に基づいた就労形態の実行
<p>子どもシェルターの存在意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子どもに愛着を注ぐ場 ②子どもの権利を尊重する団体 子どもの意見表明権を尊重する ③居場所を創出した高齢児童の避難場所の提供 ④家庭や児童養護施設で生活できなくなった児童児童の生活の場を提供 ⑤社会的養育で育った若者の相談場所、居場所の提供 	<p>法人の方角付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ①親元や施設で暮らすことができなくなり、居場所を創出した子どもや若者が自立していくために継続的な支援をしていく。 ②支援者の持っている資源を有効に活かす。 ・職業訓練<接客・技術習得> ・生活訓練<清潔・整理・金銭管理・調理> ③職員の手厚改善 ・人員の増員(ボランティアの活用) ・給与増定の見直し、退職金増大 ④ホーム管理者とサービス責任者の役割を分ける ⑤外部の専門家の関わりを高める <OT、心理カウンセラー、産業カウンセラー>etc ⑥就労先の開拓 ⑦社会福祉法人格の取得を目指す

前回3月22日の例会記録

出席の状況

会員数 47名(内出席免除者 0名) 出席者数 34名
欠席者数 13名 出席率 72.34%
欠席者 福元, 花房, 入江, 鴨井, 楠, 三宅, 森本, 奥田, 末吉, 田原, 竹本, 山田, 与田

会長報告

会長 平松 信

友好クラブ京都朱雀RCの奥平昭智(おくひらあきとも)様(当年93歳)が、令和3年3月18日(木)にお亡くなりになりました。ご入会は平成8年3月13日ですので、25年間ロータリアンとしてご指導いただきましたこと深く感謝申し上げます。ご葬儀は家族葬にて3月21日に執り行われました。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。



令和3年は3月20日が春分の日でしたので、春の彼岸の入りは3日前の3月17日でした。春分の日を中日とした前後3日、計7日間が春の彼岸の期間ですので、明日の23日までとなります。

「毎年よ彼岸の入りに寒いのは」(正岡子規)

「彼岸の入りを迎えたのにまだ寒いね」と、母親の八重様に話すと、「毎年よ、彼岸の入りに寒いのは」と言われたそうです。それを切り出して一句にしています。自分でも知らないうちに俳句を詠んでいる。ここに俳句の原点があるようです。

「毎年よ新型コロナ対策は」インフルエンザと同じく、新型コロナウイルスについても毎年安定した対策ができるように期待しています。首都圏の1都3県の緊急事態宣言が昨日解除されましたが、コロナ禍での対策についてRCとしては最善を尽くしていきたいと願っています。そのため、例会、クラブ内外行事における対応をよろしくお願いいたします。

令和3年3月27日に予定されていました第8・第9グループ合同インターシティ・ミーティングの研修テキスト(当クラブの活動状況を鈴木幹事が記載)を会員の皆様と確認するように、川本平山第9グループガバナー補佐より連絡をいただきました。

本日の内部卓話は、S.A.A.の野田洋市会員で、「子どもシェルターモモのこれからの10年について」です。野田会員は、川西熊雄会員と岡本和夫会員の推薦により、平成30年1月10日に岡山北西RCに入会されました。

職業分類は経営管理ですので、とてもしっかりされています。言われることに筋が通っていて、行動が理に適っています。野田会員と私は同じ年の丑年生まれで、私は動きが遅い“こって牛”ですが、野田会員は、まさに“呑牛之気(どんぎゅうのき)” 牛を丸呑みにするほどに大きな心意気という意味のごとく、やる気に満ち溢れています。

尊敬の念が尽きない野田会員から、卓話をしていただくのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

幹事 鈴木 一生

- ① 京都朱雀RC、奥平昭智様が3月18日(木)ご逝去されました。ご葬儀は3月21日(日)家族葬で執り行われましたのでお知らせいたします。
- ② 米山記念奨学会より、クラブと藤岡会員に委嘱状がとどいております。
- ③ 第8・9グループ合同IM研修テキストが届いておりますので配付しております。今年度のIMは紙面での開催となりましたので、研修テキストにお目通しいただき、各自で研修をお願いいたします。
- ④ 例会出欠確認表を回覧いたします。当日変更があっても構いませんので、お手数ですが、出欠をご記入くださいますようお願いいたします。
- ⑤ 京都朱雀RC事務局移転のお知らせ、合同IM研修テキスト配布と研修のお願い、他クラブ週報を回覧いたします。
- ⑥ 次週29日(月)は、12:30から通常例会を開催いたします。プログラムは国際奉仕のクラブフォーラムとなっておりますので、よろしくお願いいたします。



スマイル報告

- 平松会長：京都朱雀RC奥平昭智様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。
藤岡温会員が奨学生のカウンセラーに委嘱されましたことに感謝申し上げます。
野田洋市会員の卓話をとても楽しみにしています。
- 鈴木幹事：京都朱雀RC奥平会員のご逝去に対し謹んでご冥福申し上げます。
本日は子どもシェルターモモについての卓話、野田会員、宜しく願いいたします。
IMテキスト作成にご協力頂いた会員の皆様、ありがとうございました。
- 野田会員：子どもの貧困と虐待に対し自民党の有志議員がこども庁の創設を提言し、まとめた事にエールを送りスマイルいたします。
- 相原会員：本日、内部卓話をさせていただきます野田S.A.A.の、子どもシェルターモモでのご活躍に敬意を表しスマイルさせていただきます。
- 横山会員：先週の週報に”あした彩”の例会の記事が載っていました。卒業生は最後の例会だったようで後輩に向けての感謝の言葉を読んで感動しました。これからも頑張ってください。
- 久松会員：昨日、備前焼を作りに行きました。焼くのはまだ先になりますが、集中力が増し、心が落ち着きました。友人の工房ですので作ってみたい方がいらしゃいましたらお声かけください。
- 兎島会員：本日もスマイルしていただきました皆様に感謝してスマイルします。

7件73,465円（累計1,022,500円）

クラブ情報

創立30周年記念式典実行委員会

委員長 堀川 辰也

創立30周年記念式典の日程が決定しましたので、ご報告致します。
令和4年5月8日(日)になります。
ゴールデンウィークと重なりますが、皆様日程の調節をよろしくお願いいたします。



米山奨学生カウンセラー委嘱状授与



例会情報

本日のメニュー（3月29日）

人参のムースとコンソメジュレ
スズキとほたて貝柱のブイヤベース ポワロのフォンデュ添え
よもぎのクレームブリュレと柑橘 パン コーヒー

次回のメニュー（4月5日）

丼 物 鋤焼丼 牛肉 玉葱 結莢蒟 京葱 椎茸 鋤焼餡
ちらし木の芽 温玉

酢 物 天然鯛 薄造り 大葉 花穂紫蘇 金魚草 紅玉 巻浅葱
酢橘 ぼん酢

和 物 菜の花お浸し羹とろろ和へ 桜海老素揚げ 糸花鰹
お浸しジュレ

赤出汁 浅蜷 若芽 刻み葱 粉山椒

香 物 胡瓜漬け 柚子大根 生茄子しば



前回メニュー(3月22日):桜鱈ちらし寿司